

## 第 22 回建築の自動化技術シンポジウム

主催：日本建築学会 材料施工委員会 建築生産運営委員会 CA技術小委員会

日時：2019年2月1日（金） 10：00～16：30

会場：建築会館ホール （東京都港区芝5-26-20）

本シンポジウムは、建築生産分野における自動化や情報化の研究発展を図るとともに、広範囲な分野の研究者や実務者の交流の場を提供することを目的としている。建築現場では労働力不足や作業員の高齢化が深刻な課題になり、作業のロボット化や自動化、ICTによる効率化や省力化への期待は大きい。しかしながら、実際の建築施工にロボットやICTを導入し、効果的な成果を上げるためには、技術的な開発と共に導入に向けた整備や安全性、ロボット規格と性能評価など、施工側と開発側が一体となった解決が必要である。本シンポジウムでは建築施工に関わるロボットやICTを対象に各種の研究・開発状況について報告して頂き、実際の施工現場で有効となる技術や方向性を検討して行きたい。

### 【プログラム】

- I. 開会の辞 10：00～10：10 井上文宏（湘南工科大）
- II. 研究発表：セッション1「建築現場における情報化技術の開発と適用」 10：10～11：10  
司会：関原 弦（フジタ）
- (1) 鉄骨工事における情報化施工技術の開発 鈴木 信也（戸田建設）
  - (2) 電力線通信を用いた建設現場 ICT インフラ構築技術の開発 西野 高明（竹中工務店）
  - (3) 建設現場における ICT/IoT 推進に向けたデータ活用方法の提案 柳原 好孝（東急建設）
- 休憩 11：10～11：20
- III. 特別講演 11：20～12：20 司会：井上 文宏（湘南工科大）  
文化財の IT 化技術への応用（CG 技術でよみがえった壮大な鎌倉一永福寺） 長沢 可也（湘南工科大）
- 昼食 12：20～13：20
- IV. 特別講演 13：20～14：20 司会：神山 和人（竹中工務店）  
機械学習を用いた診断の自動化に関する研究について（仮） 藤井 浩光（千葉工業大）
- V. 研究発表：セッション2「ドローンによる計測と点検技術」 14：20～15：20  
司会：眞片山 美穂（建築研究所）
- (4) 二輪型マルチコプタを用いた構造物の近接撮影および IFC 三次元モデルを利用した点検システム  
長谷川英司（富士通研究所）
  - (5) Visual SLAM による自律型ドローンを活用した建物点検技術の開発 宮内 博之（建築研究所）
  - (6) 災害対応用建物外壁検査ロボットシステムの開発 井上 文宏（湘南工科大）
- 休憩 15：20～15：30
- VI. 研究発表：セッション3「建築施工のロボット・自動化技術」 15：30～16：30  
司会：鈴木 信也（戸田建設）
- (7) 画像測位による柱建方精度管理 石川 理人（前田建設）
  - (8) 鉄筋結束ロボットの開発・実証 森 直樹（大成建設）
  - (9) 余盛コンクリートを瞬間破碎する杭頭処理工法の開発 中村 隆寛（鹿島建設）
- VII. 閉会の辞 16：30～16：40 鈴木 信也（戸田建設）

定員：120名

参加費：会員3,500円 会員外4,500円 学生1,500円（資料代を含む、当日お支払いください）

●Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615773> よりお申し込みください。

問合せ：事務局 事業グループ 浜田 TEL 03-3456-2051